

おもいやり通信

発行：社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日：令和6年11月7日

第52号



今年度も、半年を過ぎようとしています。日々の園生活で、お友だちとの絆、教職員との信頼関係を築き上げていく中で、思いやりの気持ちが色濃く表れています。

当園が進める「思いやり3原則活動『手伝う・励ます・ありがとう』」は、子どもたち、職員、ご家族の皆様等、園に関わる全ての人たちの心をつなぎ、みんなを元気にしてくれるものだと考えております。今後も今まで以上に、思いやりいっぱいの清水こども園を作っていきたいと思っております。

令和6年度 第2回思いやり集会を開催

思いやり集会で、笑顔の花が咲きました。

令和6年10月7日（月）に第2回思いやり集会を行いました。今回も、園長先生の話の後、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」を歌い、思いやり行動の発表を行いました。子ども達の素敵な歌声に、先生たちの思いやりエピソードの発表を聞き、思いやりのうたの歌詞にある「思いやりは、心を温めるプレゼント」「思いやりは、世界を幸せにする魔法」そのものでした。

そして、10月のテーマは、「励ます」。各クラスで子どもたちと話し合いをし、子どもたちから色々な言葉がでてきました。

※各クラスの話し合いの様子は裏面をご覧ください。



励ますって？

元気づけたり、カづけたり
することだよ！



思いやり集会での園長先生のお話 「人を励ます8つの言葉」

1. どうしたの？大丈夫？
2. 辛かったね。大変だったね。
3. 今まで頑張ってきたね。
4. 大丈夫だよ。
5. いつもそばにいるよ。
6. いつでも話を聞くよ。話してね。
7. 大切なことの相談相手にしてくれて、ありがとう。
8. 明日はきっと良くなるよ。

優しい言葉を掛けると、
必ず自分に返ってきます。
園長先生より



自分の心に寄り添ってみよう

『自分を励ますいい言葉』

「そうか、そうか、そうなんだ。」
「そうか、そうか、そうだよね。」



- 自分の気持ちを認め、受け入れることで、心に余裕が生まれます。
- まずは、自分を客観視する。
- 否定も抵抗もせず、認める。
- どんな自分であってもいい。

<心理カウンセラー：石原加受子氏より>



ご存じでしたか？「ドンマイ」は、和製英語であり、英語の“Don't mind”の本来の意味は、「私は気にしませんよ。」「私は構いませんよ。」であり、励ましの言葉としては使われない事を。。。

そこで、日本語の「ドンマイ」と同じ意味で使われる6つのフレーズをご紹介します。

Shake it off…気にしないで。

No worries…心配しないで。

Forget about it…そんな事、忘れなよ。

No big deal…そんなの、たいしたことじゃないよ。

It's ok…大丈夫、気にしないで。

Never mind…気にしないで。

思いやり集会で各クラスで話し合った内容紹介

ひよこ組 0歳児

『どんぐりころころ』の歌のペープサートを行いました。どんぐりの絵は両面になっており、泣き顔と笑顔が描いてあります。

「泣いているどんぐりさんを、いい子いい子したら、ニコニコになるかな?」と、話しながら、子ども達の前に差し出すと、かわいい手でどんぐりを撫でてくれました。ニコニコどんぐりに変身すると、子ども達もニコニコ笑顔でした!

体験や生活の中から、思いやりの心が育って欲しいです。



ひよこ組 1歳児

思いやり集会では、体を揺らしながら思いやりの歌を聴いたり、部屋で放送を聞いていたので、人形に布を掛けたり、おんぶや抱っこをしてお世話をしながら優しい気持ちで参加する事が出来ました。『ふわふわちゃんちくちくちゃん』のスケッチブックシアターでは、友達と玩具の貸し借りのやり取りを分かりやすくストーリーにし、一緒に遊ぶ喜びを伝えました。「かして」の声掛けに「いいよ」「だめよ」「やだよ」と子ども達から様々な言葉が出て思わず笑ってしまいました。

日常では泣いている子や頑張っている子に「大丈夫?」「がんばって」等、励ましの声も掛けてくれる1歳児さん。自我が芽生え、自己主張も強い中、友だちや周りの人を思いやる気持ちも一緒に育てるように過ごしていきたいです。



りす組

思いやり集会では、お互いの顔が良く見えるようにみんなで円になり、手を繋いで「おもいやりの歌」を歌う中で、友だちの存在がより大きく大切に感じることができたりす組さん。

絵本「じぶんのきもち ともだちのきもち」の読み聞かせを通して様々な気持ちがある事を知り、気持ちを伝え合うことの大切さや「励ます」言葉や行動によって周りの友だちが元気になる事を伝えると「みんなが笑顔になれるといいね!」という言葉が聞かれました。日頃から思いやりの言動の大切さを子ども達と共感できるようにしていきたいと思います。



うさぎ組

励ますについて子どもたちに話をしました。「励ますってなんだろう?」と問いかけると、少し難しくしていました。励ますの中には、元気付ける・勇気付ける・応援するという言葉がある事を伝え、11月に行われる運動会に向けて活動をしている事から、「頑張れ!って応援する!」「大丈夫?って言ってあげる!」と子ども達から様々な言葉を聞く事が出来ました。

その後、園庭遊びを行うと鉄棒を頑張るお友達に「〇〇ちゃんすごいね!」と伝えたり、転んでしまったお友達に「大丈夫だよ」と優しく声を掛けてくれていました。自然とお友達の良い所を見つけて伝える事が出来るようになってきたうさぎ組さん。これからも、そんな優しい気持ちを大切に大きくなってほしいです。



くま組

「みんなの心はどこにある?」

園長先生が呼んでくれた絵本「心ってどこにあるのでしょうか」。

読み聞かせが終わった後にみんなで「心」について話し合いました。

みんなの心はどこにあるの?と問いかけると、「おっぱいのとこ」「お腹の中」等、自分の思う心の場所を教えてくれた子ども達。怒った時、どうしてお友達を叩いてしまうんだろう?悲しい時や嬉しい時、どうして涙が出るんだろう?絵本の内容を思い出しながらみんなで考えると、「嫌だった気持ちが手に伝わってるんだ!」「お目目に悲しい気持ちが移動したんだね」と教えてくれました。

色々な気持ちがあって、その気持ちによって様々な所に移動する心。一人一人気持ちに違いがあって、感じ方もみんな違います。自分が言われて嬉しかった言葉は相手も嬉しい時があるし、その反対もある事、相手の気持ちになってみると優しく出来る事もたくさんあるんだという事を伝えました。

優しい心をたくさん持っているくま組さん。これからも、相手の気持ちを考えられる素敵なお兄さんお姉さんになってもらいたいです。



ぞう組

ぞうぐみでは「はげます」ときのことばやきもちってどんなことば?をかんがえました。

こどもたちから

- ・ママをはげましたいときのことば…「てつだうよ・ありがとう」
- ・ともだちをはげましたいときのことば…「だいじょうぶだよ・いっしょにやろうよ」

としげんとあふれだす、はげますためのことばに、こころあたたまりました。

はげましあいながらとりくむことで、いっちだんけつできることをおぼえたみんなと、これからもがんばりたいです!

